

2026年度4月入学(Ⅱ期)

東北大学大学院経済学研究科博士課程前期2年の課程

筆答試験問題

経済経営科目 「経営政策」 (日本語もしくは英語で解答すること)

以下の全ての問いに答えよ。

問1：以下の語句を説明せよ

- (1) CAGE フレームワーク
- (2) マーケティング・ミックス
- (3) 製品ライフサイクル理論
- (4) A-U モデル

問2：ビジャイ・ゴビンダラジャン (V. Govindarajan) らが提唱した「リバース・イノベーション」について、以下の問いに答えなさい。

(1) 本概念の定義を述べ、多国籍企業のグローバル戦略においてリバース・イノベーションが重要視されるに至った背景を、世界経済の動向や新興国市場の特性に留意して説明せよ。

(2) 新興国市場向けに開発された製品やサービスが、翻って先進国市場においても競争優位を持ち得る理由について、あなたの考えを論理的に説明せよ。

問3：マイケル・ポーター(M. Porter)は、企業が競争優位を構築するための「基本戦略」として、「コスト・リーダーシップ戦略」「差別化戦略」「集中戦略」を提示した。これらについて、以下の問いに答えなさい。

(1) 上述した3つの基本戦略の定義と、それぞれの違いを説明せよ。

(2) マイケル・ポーターは、複数の戦略を同時に追求して中途半端になる状態を「スタック・イン・ザ・ミドル (板挟み)」と呼び、回避すべきとした。どのような戦略間の板挟みが想定されるかを明らかにした上で、それが起こり得る理由を、具体的な事例を挙げながら論理的に説明せよ。